

RI テーマ



ロータリーは機会の扉を開く

創 立／1954年(昭和29年)6月30日

事務局／〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内

TEL. 0778-23-5210・FAX. 0778-22-2333 E-mail: takefurc@es.ttn.ne.jp

TAKEFU WEEKLY

Rotary



例会日／毎週火曜日

例会場／武生商工会館

会 長／白崎 弘康

幹 事／三田村 士郎

会報委員長／柿谷 好彦

第3187回 例会記録 令和3年6月15日(火)

本日出席会員 32名

メイクアップ(前々回) 5名

出席率(前々回補正) 76.47%

ロータリーソング「我らの生業」

ゲスト：吉本興業ホールディングス

取締役副社長 清水英明氏

会長挨拶 直前会長 三村 昌之

会員総数
52名

皆さん、こんにちは、お久しぶりです。

今日は、いつものピンチヒッターの小林副会長がお休みだということで、急遽登板ということ

になりました。白崎会長からは昨日電話があり、明日は頼むとの伝言がありました。声は元気そうでしたが、復帰の時期となるとなかなか話してはくれませんでした。コロナコロナで福井県内のロータリークラブの例会も中止になるクラブが多かったのですが、今年度、武生RCの残る例会は来週の22日が最後の例会になります。29日の最終火曜日は例年通り休会となりますので、お間違えのないようお願い申し上げます。

それでは、今日お招きしましたゲストをご紹介します。吉本興業ホールディングス取締役副社長の清水英明さんです。今日は、吉本興業北陸担当の山本さんとご一緒にお見えになりました。どうもありがとうございます。ネットでの知識ですが、清水さんは、鯖江市ご出身、藤島高校から東大の法学部を出られて、伊藤忠商事に入り東南アジアの担当を担い、現在、吉本興業では海外事業を担当されているそうです。

今日は、「越」の原郷～東アジアにおける「越」文化

圏から「南越」を見直すと題されて卓話をしてもらいます。どうかよろしく願いいたします。ところで、コロナウィルスワクチンについての話ですが、福井県の杉本知事は先週11日の定例会見で県民全てのワクチン接種を10月末までに完了するという目標を発表しています。コロナ対策に100億円、そのうちワクチンには20億円を使うと言っています。一定の回数以上のワクチン接種を行った医療機関には支援金という報奨金を払うといひます。うちの福祉関係の職員は75名ほどいますが、僕も含めて、医療従事者として中村病院ですでに二回の接種を終えています。老人ホーム入居者は50名超えますが、僕が1回目、2回目まで全て注射していますし、入居者さんに打って余ったワクチンは捨てる訳にも行かないので、ご近所の皆さんに声を掛けて打ってあげています。それでご近所の皆さんには大変喜ばれております。ホントは緊急事態だから、戦前のように医者に休みも何も要らない、打って打ちまくれと言われれば、一人で1時間に100人くらいは打てるもので7月までに国民全員に打つことは可能だと思いますが、なんせ民主主義の時代ですから、医療従事者に強要はできないのでしょうか。歯がゆい思いますが、僕も明後日の17日にはアルプラザの市民プラザ武生で三時間ほど時間を割いて注射を打つように市から言われています。もちろん2回目接種の7月8日にも三時間出てこいと言われていますが、これはロータリーでいう社会奉仕だと思っております。コロナウィルス対策には、三密を避ける、マスク会食をしると色々言われていますが、何と言っても究極の対策はワクチン接種に尽きます。ここにいらっしゃる65歳以上の会員はもちろんのこと、64歳以下の会員さんたちも積極的にできるだけ早急にワクチンを打つことをお願いしてご挨拶に代えさせていただきます。

プログラム

ゲスト卓話 清水英明氏

「越」の原郷 ～東アジアにおける「越」文化圏から“南越”を見直す



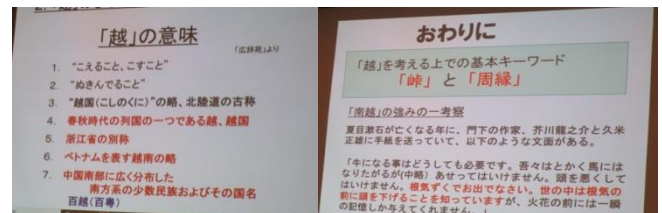
高校までは、ずっと鯖江に居まして家も農家だったので、関心は地方自治とか教育や福祉に関心はずっとありました。

学校も法学部に行っ

て公務員になって文部省や厚生省に行こうと、子供からの関心がそうゆう所にあつて、学校が終わって働くことになったから、民間の勤務と考えた時に、もう一つの関心がアジアに関心があったので伊藤忠に入りました。80年代は昔の中国に駐在していて、貧しい時の中国に日本の技術、通信とか家電とかプラント輸出とかずっとやっていて、北京とか上海にも駐在していました。天安門事件の前に日本に帰って、90年にタイに駐在していました。39歳か40歳前で本当に自分がやりたい事とか働き方を見直すことがあり、タイに駐在していた時に辞めました。40代でスペースシャワーという音楽を中心とした上場会社で、半年ほどの契約社員として入ったのですが、やっているうちに段々と仕事が面白くなってきて、8年位、社長・会長をやっていました。元々社会に関心がありまして、アジアに行ってアジアとソフトエンターテインメントとかやって来ましたので、自分としましては地域文化をどうするかに関心が強いので、今までやって来た部分を、それに生かして行きたいと思っています。

始めに「越」と言いますか、「越」(こし)と「越」(えつ)で「越」(えつ)という字が出てきたのは少し後で、小学校か中学校の時に凄く「越」(こし)とか「越」(えつ)に関心を持ち出して夢中になった事があるので、「越」(こし)とか「越」(えつ)を色々な所で見かけるとテンションが上がっていました。何でこんな風に思ったのかは小学校か中学校の時に、70年代位にその頃の日本における福井という所が、ニュースや学校で教わる事が色々な事から見てもすごく都市化の進展が進んでいましたし、中央志向が強いし、段々とグローバル化とか全国均一的な事とか、競争社会効率主義という所が、やはり傾向が顕著に見られる中で、福井の三里山の下の農村に生まれた時に凄くその中で、

何か一つ何くそという所もあったけれど、ランキングや評価のそうゆう中で少しずつ上げていく、自分としてそうゆう事を目指して行くことが子供の頃より思っていたことが、今の行政区分である47都道府県があり県のランキングというか物の基準が全然違う世界というか、今の地域・行政区分を超えた地域概念で一定の独立した、特色のある地域県があったという世界が自分の考え方が、わくわくするし、もう少し何を作っていくかと言う時に参考になるという事が救われました。自分が今子供の頃より思っている、世の中の見え方が全然違っている、何気に見ている河が昔、十分な役流を持ち伝えていくという事が凄くあるので、一つは日本海という事を見直す事を、海とか河川の意味とか、後はフードとか精神文化の所が昔の所に入れば行くほど、自然とか気候という所の生活とか、精神面に凄かったところがあり、やはりそうゆう所に引かれていく事があって、後は先人の人達が、それなりに苦勞しながらも生計を立て産業を起し、日々の家庭や地域を維持していく中の、色々な民族が生まれ維持され、そういうものの大事さの中に自分も入っていたこともあります。「越」(こし) (えつ) というものに出会って自分にとっての意味というものは、福井というものを今見えている鉄道や道路の交通網とか、各県別で評価されていくものとは違う福井というものを捉えるという事が、自分の所はさがって常にこれから自分はその後からは、相対的・多面的に何でも施行することに、ものすごく「越」(こし)に出会ってから出て行って、端から物事を見て多面的に施行が出来ていたと思います。



ニコニコ箱・・・32,000円 累計 872,500円

- ・今日は会長の代理をさせていただきます。よろしく
お願いします。 【三村昌之】
- ・ちょっと 【奥村 忠】 【田中大成】
- ・清水さんの卓話楽しみにしています。 【田中 茂】
- ・本日、次年度クラブ協議会よろしく申し上げます。
【野田義弘】 【矢尾主成】
- ・ちょっと良いことありまして。 【宇野晃成】
- ・遅刻申し訳ございません。 【西本久美子】

本日(6月22日)例会

最終例会/音楽鑑賞

アコースティックギター

馬場 正大氏

6月29日

休 会

7月6日

第一例会行事

新年度挨拶

7月13日

決算報告・監査報告

予算発表

委員会活動方針発表